(①歴史・文化施設)

I 施	施設概要•利用情報 (単位:人、%、円、日)									
		施設名	掛川城	天守閣·掛川城御殿			担	<mark>当課名</mark> 文化振興課		
		区分	•				内容 説明			
	(1)計	设置条例名		掛川城条例						
	(2)扩	拖設設置目的]	木造天守閣として復元された天守閣及び重要文化財掛川城御殿を市民に広く開放するとともに、掛川城の歴史文化的価値を顕彰し、もって 市民文化の発展に寄与するため。						
	(3)於概要		設備、機能の	天守閣【木造3層4四	階瓦葺き、総床面積	304.96㎡】、御殿【木	造平屋建て瓦葺き	、総床面積947㎡】		
	(4)疗	施設建設年度	[天守閣【平成5(199	5)年】、御殿【安政2	(1861)年】				
1	(5)₫	付震性能の有	無	天守閣【有】、御殿【	無】					
施 設				避雷針パンザマスト	·撤去·棟上導体新記	设(H27年、5,227千円])			
及 び	(6)\f	野来予想され	スツ体経費	御殿下見板の修繕	(H28年、3,071千円)	1				
指定管		まままでは、現実の主要と表		御殿漆喰壁の修繕	 (H29年、4,586千円)				_	
理				御殿濡縁の修繕(H	30年、4,252千円)				_	
者の出	(7)扌	旨定管理者名	i	掛川城管理運営井	共同体				_	
状 況	(8)非	旨定期間		平成26年4月1日	から 平成36年3月	31日 まで				
	(9)扩	施設の管理運	営形態	③指定管理料+	·利用料金併用制度					
	(10)	自主事業の	有無	☑ 実施あり	実施なし	なし ※実施ありの場合は、収支状況をⅢ一(3)欄に記入のこと。				
	(11)	その他事業の	の有無	□実施あり	□実施あり ☑実施なし ※実施ありの場合は、収支状況をⅢ一(3)欄に記入のこと。					
	(12)事業報告書提出の有無			☑ 提出あり(地自法第244条の2第7項による提出義務) □ 提出なし						
	(13) の律			✓ 実施あり	実施なし	※実施ありの場	合、値近の実施な	F度 平成27年度)		
	100	区分		H25実績	H26実績	H27実績	H27実績 H28当初 備考			
	(目標値)			-	城・茶室・竹の丸 の全体で150,000	城・茶室・竹の丸 の全体で150,000	城·茶室·竹の丸 の全体で167,000	※協定書に記載した要求水準値を記入してください。		
	(1)	施設利用者	(実績値)	109,857	117,374	129,660	<u> </u>		_	
		入館者数(天守閣 御殿)		109,857	117,374	129,660				
	内訳									
	施施									
2	設 ·									
利	設備									
用状	از ک									
況	<u> </u>									
	(2)科	家働率(利用	率)					↓備考欄に算定式を記入してください↓	_	
	· ·		A平日昼間			100.0%		入館日数(365日)/開館日数(365日)	_	
	施 設 •		B平日夜間			_				
	設備ごと	天守閣•御月	役 C土日祝昼間			100.0%		入館日数(365日)/開館日数(365日)		
	ک		D土日祝夜間			_				
		区分		H25実績	H26実績	H27実績	H28当初	備考		
3	(1)排	1定管理者名	i	公益財団法人掛川市 生涯学習振興公社				※1-(7) 現在の指定管理者と異なる年度のみ記入	_	
管	(2)禾]用者一人当	こりの運営経費	226	332	303			٦	
理	(3)道	運営日数		361	365	365	365		\neg	
運営			①正規職員	0.0	1.0	1.0	1.0	** ※指定管理者の組織構成員全体の人数ではなく、当該指定	\dashv	
状況	(4)運営人員 ②臨		2 臨時職員	13.0	10.0	10.0	11.0	管理体訟で働いている宝 人 数を記 ス してください	•	

1

Ⅱ 施設管理に係るコスト情報 (単位:円、%)

	I	⊠分	H25決算額	H26決算額	H27決算額	H28当初予算額	備考
	1)	件費	22,620,534	35,569,000	36,336,316	40,000,000	H26~掛川城(天守閣・御殿)・茶 室・竹の丸を一括管理
	2 FJ]刷費	1,450	121,000	0	280,000	
	3ï	值信費	279,543	520,000	244,162	550,000	
	4事	5務用品、旅費、図書費など	57,847	460,000	573,392	500,000	
(1)運営コスト(A)	⑤信	計上料	374,220	0	379,622		
	6年	除料、消費税(租税公課)等	1,223,769	0	3,200	1,078,000	
	⑦そ 0)他(支払手数料、広告宣伝費、一般管理費、雑費)	304,595	2,310,000	1,761,083	9,800,000	
		計	24,861,958	38,980,000	39,297,775	52,208,000	
		対前年度増減率		56.8	0.8	32.9	
	I	区分	H25決算額	H26決算額	H27決算額	H28当初予算額	備考
	1	哲理委託費(外注費)	7,218,665	7,741,000	6,832,158	7,715,000	
		天守閣消防設備保守点検業務	148,050	367,000		366,000	
		天守閣警備保障業務	304,920	1,550,000		1,547,000	
		御殿消防設備保守点検業務	264,600	936,000		936,000	
		御殿警備保障業務	475,020	0		4,500,000	
		天守閣·御殿清掃業務	1,008,000	0		72,000	
		天守閣•御殿保安業務	4,021,754	0			
(2)施設コスト(B)		その他	996,321	4,888,000	6,832,158	294,000	
にが他収コスト(ロ)	②修繕費		960,075	282,000	7,605	400,000	
	③光熱水費		634,034	1,914,000	1,902,569	1,700,000	
	4烷	太料費	29,370	63,000	67,304	50,000	
	⑤清	掃費	0	27,000	938,639	100,000	
	6年	守点検費	0	0	0	120,000	
	7 7	の他(施設消耗品)	434,045	2,480,000	1,031,483	4,600,000	
		計	9,276,189	12,507,000	10,779,758	14,685,000	
		対前年度増減率		34.8	△ 13.8	36.2	
(3)トータルコスト(施設管理	(3)トータルコスト(施設管理費 合計) (A)+(B)		34,138,147	51,487,000	50,077,533	66,893,000	
(4)合計のうち運営コストの	割合		72.8	75.7	78.5	78.0	
(5)施設の収入 ※1)下記	31:7	<u></u> し力する	36,101,743	45,965,000	50,271,424		
(6)運営コストのうち利用料	収入	の割合	145.2	117.9	127.9		

Ⅲ 収支差額の状況 注)【指定管理料施設は(1)欄に、利用料金制度又は両制度併用施設は(2)欄に記入。また、自主事業を実施している施設は(3)欄に記入】

(1)指定管理料のみで運営している施設				(単位:円)
区分	H25決算額	H26決算額	H27決算額	備考
a) 施設使用料収入				※施設使用料は、掛川市へ収入される
b) 指定管理料				
収支差額 a)-b)				

(2)利用料金制度施設又は指定管理料・利用料金併用制度施設				(単位:円)
区分	H25決算額	H26決算額	H27決算額	備考
a) 施設利用料金収入	36,101,743	45,965,000	50,271,424	掛川城・二の丸茶室・竹の丸を一括計上(H26~)
b) 収支差額(aートータルコスト)	1,963,596	△ 5,522,000	193,891	
c) bに対する市の支出額(指定管理料)	960,000	12,000,000	6,000,000	

(3)自主事業及び指定事業・その他事業の状況				(単位:円)
区分	H25決算額	H26決算額	H27決算額	備考
a) 自主事業の収入	0	8,642	9,218,929	H27売店の収入
b) 自主事業の支出	154,381	9,419	6,497,449	H28売店の原価
収支差額 a)-b)	△ 154,381	△ 777	2,721,480	
c) その他事業の収入				
d) その他事業の支出				
収支差額 c)-d)	0	0	0	

Ⅳ 担当課による評価

(1)施設設置目的の達成度

点数	評価基準	評価	改善を要する点(何を、いつまでに、どのように)
3	設置目的を達成できている	計画	
2	設置目的をほぼ達成できている。		
1	設置目的を一部達成できていない。	2	
0	設置目的を達成できていない。		

(2)協定書に記載した業務要求水準の達成度 <達成 3点、未達成 0点>

評価項目	要求水準	実績	評価	改善を要する点(何を、いつまでに、どのように)
A 施設全体の満足度	90%	97%	3	引き続き高水準を保てるようにアンケートを参考にして利用者の意見を反映させていく
B サービス内容の満足度	90%	98%	3	引き続き高水準を保てるようにアンケートを参考にして利用者の意見を反映させていく
C 従業員応対の満足度	90%	97%	3	引き続き高水準を保てるようにアンケートを参考にして利用者の意見を反映させていく
D 施設安全対策の満足度	90%	97%	3	引き続き高水準を保てるようにアンケートを参考にして利用者の意見を反映させていく
E 美観·清潔感の満足度	90%	98%	3	引き続き高水準を保てるようにアンケートを参考にして利用者の意見を反映させていく
F 施設の利用者数	150,000人	159,357人	3	平成32年度に施設利用者200,000人

[※]協定書の業務要求水準及び実績を記載し、評価については要求水準に達していれば3、達していなければ0としてください。

(3)収支の改善状況

点数	評価基準	評価	改善を要する点(何を、いつまでに、どのように)
3	黒字である。	計画	
2	収支均衡している。/前年度より収支差額が縮小(改善)している。		
1	赤字である。/前年度と同等の収支差額である。	3	
0	大幅な赤字である。/前年度より収支差額(赤字)が増えている。		

(4)安全対策・危機管理体制など

点数	評価基準	評価	改善を要する点(何を、いつまでに、どのように)
3	利用者の安全対策や危機管理体制は万全である。		特に危険な箇所は少ないが、危険箇所がないかを日頃から確認し、急な 事故等の対応を常に心得ておくこと。
2	万全とは言えないが、事故等が発生する確率は低い。		
1	安全対策・危機管理体制は整っているが、昨年度事故等が発生している。	2	
0	利用者の安全対策や危機管理体制に不備があり、改善が必要である。		

(5)本施設(事業)の継続性と行政の関与について

点数	評価基準	=T: /TT	改善を要する点(何を、いつまでに、どのように)
3	民間が実施できる事業であり、行政が実施しなくてよい。 (施設の貸付、売却、譲渡、独立採算制などを検討)	評価	
2	民間が実施できるが、行政の関与が必要である。 (直営化、一定額指定管理料制度など)		
1	現在の指定管理で良いが、大幅な経営改善が必要である。 (独立採算制、一定額指定管理料制度への移行など)	3	
0	民間では実施できない、担い手がいないため、行政がやるべきである。 (直営化、収支差額補てん型指定管理者制度など)		

(6)総合評価

点数	評価基準	評価	改善を要する点(何を、いつまでに、どのように)
3	本施設の指定管理者として、特に優れている。最適である。	高十1皿	待ちの体制のみではなく、新たな取り組みなどで誘致する必要性がある。
2	本施設の指定管理者として、問題はなく適当である。		
1	本施設の指定管理者として、やや劣っている。改善を要する。	2	
0	本施設の指定管理者として、著しく劣る。適当でない。		

合計	30	/33
合計	30	/33

V その他自由意見